

コモンレール&PM フィルタ研修会を実施しました

12月6日（火）に「コモンレール&PM フィルタ研修会」が教育センターにおいて行われ、19事業場から20名が参加しました。

近年、環境への配慮から、空気過剰率の高いディーゼル・エンジンへの注目が高まってきています。

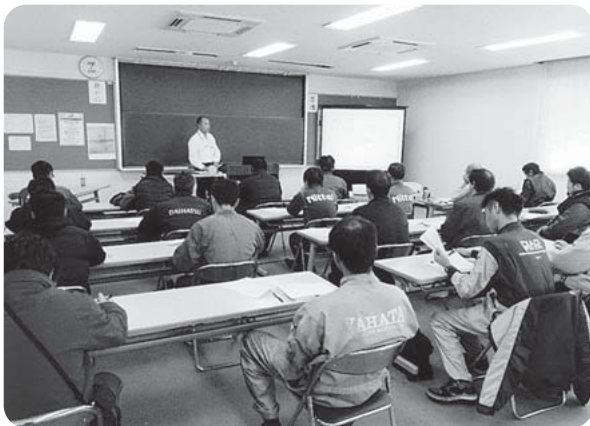
現在のほとんどのディーゼル・エンジンはコモンレール式を採用しており、また、PM フィルタや尿素式触媒なども使われています。

当然、それらに関するトラブルも増加しており、参加者の数から関心の高さが窺えます。

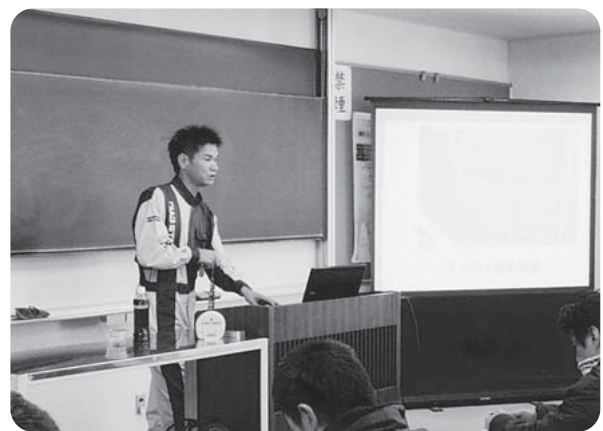
講師に、いすゞ自動車九州(株)大分サービスセンターの笠木工場長をお招きし、主に座学を中心に学びました。

研修会では、コモンレール式ディーゼル・エンジンの仕組みや構造、制御方式、また、トラブルの多いPM フィルタの構造やトラブル発生時の対処方法について学び、受講者からは多くの質問が出ていました。

最後に、PM フィルタの清掃を行っている(株)ディーゼル精機の近藤工場長から清掃方法や料金について説明がありました。



熱心に聞きいる参加者（説明は笠木工場長）



PM フィルタの清掃方法について説明する近藤工場長